



2027年5月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (非連結)

2026年10月8日

上場会社名 メディアファイブ株式会社

上場取引所 福

コード番号 3824 URL <https://www.media5.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河野 活

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 上野 瑠

TEL 092-762-0555

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年5月期第1四半期の業績 (2026年6月1日～2026年8月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年5月期第1四半期	473	8.1	30	85.7	29	92.1	18	111.6
2026年5月期第1四半期	438	—	16	—	15	—	8	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年5月期第1四半期	19.60	—
2026年5月期第1四半期	9.26	—

(注) 当社は、2025年5月期第3四半期から非連結での業績を開示しております。
そのため、2026年5月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年5月期第1四半期	687	414	60.4
2026年5月期	834	410	49.2

(参考) 自己資本 2027年5月期第1四半期 414百万円 2026年5月期 410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2027年5月期	—				
2027年5月期 (予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 2026年5月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭 (創立30周年)

3. 2027年5月期の業績予想 (2026年6月1日～2027年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	922	4.0	21	△27.6	19	△33.5	13	△28.1	13.83
通期	1,860	3.6	67	3.6	65	3.3	43	3.2	45.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年5月期1Q	986,000 株	2026年5月期	986,000 株
② 期末自己株式数	2027年5月期1Q	46,000 株	2026年5月期	46,000 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年5月期1Q	940,000 株	2026年5月期1Q	940,000 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要等を背景に、緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方で、世界的な物価上昇や金融資本市場の変動に加え、米国の通商政策の動向や地政学的リスク等により、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス業界におきましては、企業のA X (A I トランスフォーメーション) やビジネスモデルの高度化に対する投資需要が継続しているほか、生成A I をはじめとする先端技術の実用化に伴い、A I を効果的に活用できる高度なプログラマ・システムエンジニアの存在が不可欠となっており、I T人材に対する需要は依然として高い水準で推移しております。

このような環境の中、当社においてはA I を活用できるプログラマ・システムエンジニアを育成するため、当社の運営する「アキバ・テックドリーム・アカデミー」をはじめ、会社全体でA I 教育を推進しております。それにより、これまでの技術力にA I 活用を加えた高品質なサービスを提供できることが強みとなっております。また、人的資本投資を最優先の経営課題と位置づけ、社内で育成した高度エンジニアの定着率をさらに向上させるため、前期以上に給与水準の引き上げを行っております。加えて子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として「メディアファイブ保育園薬院」の運営も行っており、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるS E S事業は、I Tエンジニアの需要が高まっていることを背景として、新規取引先の獲得及び既存取引先における契約単価交渉を行ってまいりました。

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のI Tを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高473,819千円（前年同四半期は438,155千円）、売上総利益178,290千円（同168,500千円）、営業利益30,239千円（同16,288千円）、経常利益29,745千円（同15,486千円）、四半期純利益18,419千円（同8,705千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①S E S事業

主要事業であるS E S事業は、高度I T人材の育成、技術力向上に注力するとともに、取引先への契約単価交渉や戦略的な配置転換を行ってまいりました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は422,145千円（前年同四半期は405,558千円）、セグメント利益は104,112千円（同109,318千円）となりました。

②ソリューション事業

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、中規模・小規模のシステム開発案件の受注、中小企業のI Tを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスの提供を安定的に行っております。また、今後の業容拡大を目指し営業活動に注力してまいりました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は51,673千円（同32,596千円）、セグメント利益は19,865千円（同1,763千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は687,010千円（前事業年度末比147,648千円減）、うち流動資産548,556千円（同133,719千円減）、固定資産138,454千円（同13,928千円減）となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金360,314千円（同126,598千円減）、売掛金160,788千円（同7,348千円減）、前払費用9,836千円（同30千円増）等であります。固定資産については、有形固定資産20,303千円（同1,040千円減）、無形固定資産10,430千円（同1,153千円減）、保険積立金23,081千円（同増減なし）、敷金及び保証金33,854千円（同488千円減）、繰延税金資産40,735千円（同11,022千円減）等であります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は272,315千円（同151,967千円減）、うち流動負債209,675千円（同147,287千円減）、固定負債62,640千円（同4,680千円減）となりました。

その主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金18,720千円（同1,560千円減）、未払金15,441千円（同998千円減）、未払費用28,864千円（同142,986千円減）、未払消費税等40,197千円（同6,263千円増）、賞与引当金56,384千円（同56,384千円増）、預り金22,735千円（同8,993千円減）、契約負債19,173千円（同18,921千円減）等であります。固定負債については、長期借入金62,640千円（同4,680千円減）であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は414,695千円（同4,319千円増）となりました。

その主な内訳は、配当金14,100千円の支出による減少及び四半期純利益18,419千円の計上による増加であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年5月期の業績予想につきましては、2026年7月22日付の「（訂正・数値データ訂正）『2026年5月期決算短信〔日本基準〕（非連結）』の一部訂正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	486,913	360,314
売掛金	168,137	160,788
仕掛品	7,693	6,850
貯蔵品	175	161
未収入金	6,446	7,431
前払費用	9,805	9,836
その他	3,688	3,741
貸倒引当金	△583	△567
流動資産合計	682,275	548,556
固定資産		
有形固定資産	21,344	20,303
無形固定資産	11,584	10,430
投資その他の資産		
長期前払費用	1,934	2,003
保険積立金	23,081	23,081
敷金及び保証金	34,342	33,854
従業員に対する長期貸付金	2,322	2,030
繰延税金資産	51,757	40,735
その他	6,014	6,014
投資その他の資産合計	119,453	107,719
固定資産合計	152,382	138,454
資産合計	834,658	687,010
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,380	1,951
1年内返済予定の長期借入金	20,280	18,720
未払金	16,440	15,441
未払費用	171,850	28,864
未払法人税等	42,221	2,714
未払消費税等	33,934	40,197
賞与引当金	-	56,384
契約負債	38,094	19,173
預り金	31,729	22,735
その他	1,033	3,493
流動負債合計	356,962	209,675
固定負債		
長期借入金	67,320	62,640
固定負債合計	67,320	62,640
負債合計	424,282	272,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	198,925	198,925
資本剰余金	164,625	164,625
利益剰余金	55,648	59,968
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	410,375	414,695
純資産合計	410,375	414,695
負債純資産合計	834,658	687,010

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
売上高	438,155	473,819
売上原価	269,654	295,528
売上総利益	168,500	178,290
販売費及び一般管理費	152,212	148,051
営業利益	16,288	30,239
営業外収益		
受取利息	79	135
保育事業収益	10,381	12,144
雑収入	381	341
営業外収益合計	10,842	12,621
営業外費用		
支払利息	293	236
保育事業費用	11,350	12,879
営業外費用合計	11,644	13,115
経常利益	15,486	29,745
税引前四半期純利益	15,486	29,745
法人税、住民税及び事業税	296	303
法人税等調整額	6,485	11,022
法人税等合計	6,781	11,326
四半期純利益	8,705	18,419

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間(自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	S E S 事業	ソリューション 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	405,558	32,596	438,155
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	405,558	32,596	438,155
セグメント利益	109,318	1,763	111,081

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	111,081
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△94,793
四半期損益計算書の営業利益	16,288

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	S E S 事業	ソリューション 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	422,145	51,673	473,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	422,145	51,673	473,819
セグメント利益	104,112	19,865	123,978

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	123,978
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△93,739
四半期損益計算書の営業利益	30,239

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	1,893千円	2,441千円